

勇気

R7.1.8 発行
校長：種吉 信二

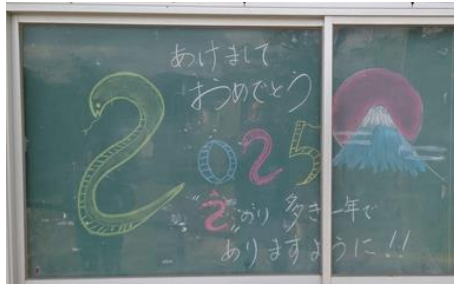
令和7年（巳年）がスタート

新年、明けましておめでとうございます。皆さんにとって穏やかな新年の幕開けとなったでしょうか。

令和7年は十二支では、乙巳（きのとみ）です。60年周期の干支の中で42番目に位置し、「努力を重ね、物事を安定させていく」という意味合いを持つ年といわれています。へびは脱皮を繰り返して成長していくさまから、復活と再生のシンボルとして縁起の良い動物とも言われています。

今年度、本校の目標である「しなやかに考え、あきらめずに挑戦する生徒」を達成していくさまに重なる部分が多いと思います。生徒が目標と現在の距離を見極めて、必要な努力を続けることができるよう

中学校と家庭がともに手を携えて助言や支援を行っていきましょう。本年もどうぞよろしく申し上げます。



3学期始業式

3学期始業式でおもに以下の内容の話をしました。

さて、3学期始業式にあたり、みなさんと「大切なこと」について一緒に考えてみたいと思います。「大切なもの」ではなく「大切なこと」です。あなたにとって「大切にしていること」とは何でしょうか。

アメリカの教育学者にドロシー・ロー・ノルトさんという方がいらっしゃいました。この方は「一番大切なこと」という詩の中で16の大切なことをあげています。どのようなことを大切にしているかみなさんに紹介したいと思います。

①「順番を守ること」、②「自分の役割を果たすこと」、③「ひとの役に立つこと」、④「やると言ったことは必ずやること」、⑤「ひとと一緒に過ごす時間を大切にすること」、⑥「ルールを守ること」、⑦「自分にできることだけを約束すること」、⑧「始めたことは最後までやり遂げること」、⑨「本当のことを話すこと」、⑩「家族に大切に思っている気持ちを伝えること」、⑪「間違いや失敗か

らちゃんと学ぶこと」、⑫「ひとの過ちを許してあげること」、⑬「正しいことをすること」、⑭「自分の身体を大事にして身体に良いことを実行すること」、⑮「最高の自分になるためのことは惜しまずやること」、⑯「自然の美しい世界をしっかりと見つめること」 この16のことをドロシーさんは一番大切なこととしています。それぞれの一番大切なことの後に、必ず「そしてとびきりすてきな自分になりましょう」と付け加えています。みなさんの大切にしていることと重なることもあったのではないのでしょうか。この16の言葉はどれもおろそかにできないことばかりですね。

今日はこの中でも「最高の自分になるためのことは惜しまずやること。そしてとびきりすてきな自分になりましょう」について考えてみましょう。

最高の自分になるためにはどんなことをしたら良いでしょうか。多分、これだという正解はないと思います。そのことを考えるためには、まず自分が今どんな人間かを知ることが必要だと思います。その時、ドロシーさんが言っている一番大切なことをヒントに考えるといいのではないのでしょうか。自分は役割を果たしているか、ひとの役に立っているか、ルールは守れているか、間違いや失敗から学んでいるか。そして、少しでも自分がどんな自分なのか分かったら、最高の自分とはどんな自分なのかを考えてみましょう。最高の自分になるためには、どんなことをどれだけすれば良いか、それは自分自身で決めることです。ここにいる生徒のみなさん一人一人その方法や道筋は違うと思いますが、「最高の自分になるために惜しまずに努力すること」は共通しています。

どうか令和7年は最高の自分になるための大切なことにこだわって挑戦を続けてください。

3学期の学級委員です。

まとめの学期をよろしく申し上げます。

(敬称略)

年 組	氏 名	氏 名
1年1組		
1年2組		
2年1組		
2年2組		
3年1組		
3年2組		